

## 2021年度 中山間農業研究所 研究課題一覧表

### ①作物分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	本	【農畜水産業のイノベーションプロジェクト】 人工衛星によるセンシング等を活用した良質良食味米の区分集荷技術の開発	R2～R5	・人工衛星を利用し、空から収穫前に食味の見える化を行うリモートセンシング技術と、水田を効率的に管理するクラウド管理技術を組み合わせた効率的な米の区分集荷技術を開発する。
2	本	【農業の地球温暖化適応プロジェクト】 夏期高温に対応した水稲品種の育成と良食味栽培技術の開発	H29～R3	・県産米「たかやまもち」「ひだほまれ」に穂発芽耐性を導入した新品種をDNAマーカーを活用して育成する。
3	本・支	【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】 加工利用米県オリジナル新品種の育成と栽培技術の確立	【新規】 R3～R7	・米の競争力強化を目指し、酒造好適米では美濃地域に適した新品種の育成と栽培技術を確立する。また糯米では「たかやまもち」の高品質化を可能とする施肥技術体系を確立する。
4	本	食味向上に向けた飛騨「コシヒカリ」の安定栽培技術の開発	R1～R5	・これまでの経験と勘に頼った施肥管理を改善し、毎年安定した良食味米生産を実現するため、土壌の可給態窒素に基づく施肥診断技術を開発する。
5	支	岐阜県産米を利用した新しいブランド品目の開発	H29～R3	・大吟醸用酒造好適米品種を育成する。

### ②野菜分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	本・支	【農畜水産業のイノベーションプロジェクト】 生育状況や気象等に応じた最適環境制御技術の開発 II ICTを活用した夏秋トマト多収栽培システムの生産性向上	R1～R5	・当所が開発した夏秋トマト多収栽培システム「3Sシステム」に、ハウス環境制御機器を組み合わせ、さらなる生産性向上(目標30t/10a)や省力化による労働力不足対策を行う。
2	本・支	【農業の地球温暖化適応プロジェクト】 夏期冷涼な気候を生かした野菜産地における地球温暖化対策技術開発	H30～R3	・温暖化(夏の高温)により多発している夏秋トマトの放射状裂果と、夏ホウレンソウの生育不良を回避するための対応技術(ハウス遮光技術等)を開発する。
3	本・支	【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】 新規就農に適した新たな品目及び生産体系の確立 カラーピーマンの3Sシステムによる栽培管理方法の開発	【新規】R3～R7	・夏秋トマトの新規就農者が増加する中で、経営の安定化を図るため、新たな組み合わせ品目として3Sシステムを用いたカラーピーマン(パブリカ含む)の栽培管理技術を開発する。
4	本	夏ホウレンソウ栽培・調製における省力化技術開発	R2～R6	・ホウレンソウの調製作業に主眼を置いた新たな品種評価方法を確立するとともに、作期別の適品種や適栽培密度の検討を行うことで省力調製を可能とする品種体系を確立する。
5	本	大玉トマト品種「麗月」の高品質生産技術の確立による産地競争力強化	【新規】 R3～R7	・大玉トマトの新品種「麗月」の適正な肥培管理方法を明らかにする。また、環境制御により大玉化と障害果の発生抑制を図ることで、「麗月」を生産する先進的な産地としての地位を確立する。
6	本・支	中山間地域における果菜類の安定生産、省力化技術の開発	R1～R5	・夏秋トマトの養液土耕栽培へ3Sシステムを応用した多収栽培技術を開発する。夏秋ナスの省力的な仕立て方法を開発する。また、3Sシステム栽培における土壌処理剤の使用方法を確立する。
7	本	夏ホウレンソウの難防除害虫・雑草の総合防除技術開発	H30～R4	・難防除雑草「ゴウシュウアリタソウ」の生理生態を解明し、大量に生産される種子の発芽抑制による防除技術を開発する。

### ③花き分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	支	【農畜水産業のイノベーションプロジェクト】 AIを活用した切花フランネルフラワーの出荷予測・開花調節技術の開発	R1～R5	・AIを活用し、フランネルフラワーの出荷予測及び開花調節を支援するアプリを開発する。 ・中山間地域において高品質で多収できる栽培技術を開発する。
2	本・支	中山間地域の新たな花きブランドの開発	R2～R6	・鉢花では、黄花香系シクラメン、耐寒性宿根草等の新品種育成、シクラメンの高温耐性品種の選定や高品質、低コスト化技術を開発する。切花では、トルコギキョウの品種比較を行う。

### ④果樹分野

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	本	【農畜水産業のイノベーションプロジェクト】 飛騨桃の輸出販路の拡大に向けた品種選定と栽培、選別技術の確立	R2～R6	・香港でモモの需要が高まる中秋節に出荷可能な晩生モモ品種を選定し、栽培技術を確立する。また目視選別では見逃しやすい不良果について、AIを活用した識別技術を開発する。
2	本	【農業の地球温暖化適応プロジェクト】 夏期冷涼な気候を生かした果樹産地における地球温暖化対策技術開発	H30～R3	・温暖化により多発が予想されるリンゴの日焼け果及びモモの果肉障害の発生要因究明と対応技術を開発する。
3	支	【次世代農畜水産業のデザインプロジェクト】 クリ栽培の省力化に向けた機械化体系の構築	【新規】 R3～R7	・クリ栽培の省力化を目指した機械化体系を構築するため、無人航空機による防除や収穫作業の機械化を開発するとともに、これら機械化体系に適した樹形を開発する。
4	本	飛騨地域に適したモモ、リンゴ等の品種選定と栽培技術の開発	H29～R3	・モモでは基幹品種に組み合わせ可能な優良品種を選定する。 ・リンゴでは高温条件下でも着色や品質の優れた飛騨地域に適した品種や系統を選定する。
5	支	クリ新品種育成及び有望品種選定と「えな宝来」「えな宝月」「ぼろたん」の安定生産技術の開発	H29～R3	・クリのリレー出荷を可能とする新品種育成を行う。 ・当所育成の「えな宝来」「えな宝月」の安定栽培技術を開発する。 ・果樹茶業研究部門育成の新系統の本県への適応性を検討する。
6	支	果樹等幼木期における安定生産技術の開発 クリにおける凍害発生要因の解明と対策技術の開発(外部資金:農林水産省)	R2～R6	・クリの新改植の増加に伴い問題となっているクリ幼木の凍害について、土壌条件、施肥の面からその発生要因を解明し、対策技術を開発する。

### ⑤その他

番号	部署	課題名	研究期間	概要
1	本	飛騨地域に自生する薬用植物の有効成分に注目した選抜と栽培技術開発(外部資金:飛騨市)	R3～R7	飛騨地域に自生する薬用植物の中から健康増進に寄与できる植物を選択し、薬品メーカーと連携し機能性成分に着目した増殖や収穫技術などの栽培技術を開発する。